

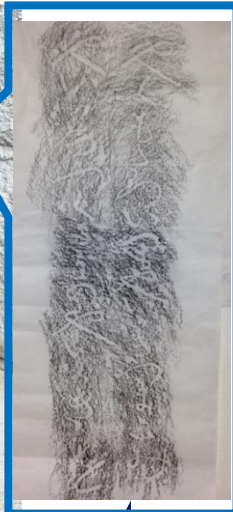
☆MONOづくり新聞☆

二十四節気の小満に入りました。万物の成長する気が天地に満ち始めることから小満といわれています。梅の実がなり、走り梅雨がみられる頃です。空は青さが増し、暑さも加わって、夏めくという言葉が使われる時期でもあります。梅雨入りも間近です。

中村ぶら〜り散歩道

今回は武良を歩いているときにふと目についた面白いものを紹介したいと思います！2枚の写真に写っている石碑は NTT 中村電話交換所の脇にひっそりと置かれています。いつ、誰が設置したのか分かっていないそうです。

「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣作る その八重垣を」という歌が刻まれています。こちらは古事記に載っている須佐之男命の和歌です。日本最古の和歌と言われており、紀貫之が著した古今和歌集仮名序によれば、和歌が三十一文字になった始まりと書かれています。須佐之男命と言えば、京都八坂神社に祭られ、疫病除け厄除けのご利益がある神様ですね。



両石碑も武良に疫病が入ってこないよう地区の人達の生活を守り続けているのかもしれないね。

「塞坐三柱大神（さやりますみはしらのおおかみ）」と刻まれています。境界を守る神様で、八衢毘古神（やちまたひこのかみ）「八衢比売神（やちまたひめのかみ）」「久那斗神（くなのかみ）」の三柱を表しています。風邪悪疫除の神々で村の外から疫病などが入ってくるのを防いでくれます。

写真提供…柴正廣さん



散歩がてら、身の回りの面白いものを探してみてくださいね！